

風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。 大雨注意報・警報の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

大雨特別警報

数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい状況と予想される場合。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～30未満	30以上～
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

竜巻から身を守る

竜巻の発生・接近を確認した時の退避行動

屋内の退避行動



雨戸、窓、カーテンを閉める。
建物の中心部に近い安全な部屋に移動する。

屋外の退避行動



屋内に退避する。

—大雨や雷に遭う可能性も高いので、早めに退避！
—人が集まる屋外行事、テントの使用、高所・クレーン・足場等での作業をしている場合は、早めに避難！

出典：気象庁リーフレット「竜巻から身を守ろう！～自ら身を守るために～」
(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatsumaki201408/index.html>)
を一部抜粋して作成しています。

気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917(耳の不自由な方向け)
気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp>

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・ラジオなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 村や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、
注意して
おきましょう！



アンダーパス等冠水危険箇所に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます(普通車の場合、約30cmの浸水で走行が困難)。アンダーパスのある場所では、無理せずに迂回しましょう。また、避難するために歩行者用地下道を通る際は、冠水していないか十分に注意しましょう。